

歴史の散歩道

(52)

平泉寺白山神社の拝殿付近には、中世の拝殿の礎石が南北に二十八個ならんでいます。この礎石について調査されたのは、上田三平です。『福井県史蹟勝地調査報告』(一九二二)には、拝殿付近の測量図が掲載されています。これによれば、昔の拝殿の跡には南北に二十八個の礎石が、東西には五個の礎石が並んでいました。これを今の長さでいうと南北が約八十三メートル、東西が約十三メートルです。なお京都の三十三間堂は一二〇メートルの長さです。

この拝殿の昔の姿を伝えているのが社務所が発行している『白山社の栞』に掲載されている「中宮古図」です。この絵図は白山参詣曼陀羅とよばれるものです。一五世紀から一六世紀にかけて、霊山や寺社への参詣者の勧誘を目的として作成された案内図で、礼拝する社堂や仏堂、開山伝承ゆかりの場所が描かれています。現在私たちが想像する以上に、案内図として正確に作られています。近年白山禅定道の調査がおこなわれ、今に残る石積みがこの痕跡であることを見いだしていま

平泉寺白山社の拝殿 二十八の礎石

す。白山社を中心とする中宮古図は正確に建物を記録したのですが、特に拝殿の建物の絵には南北に二十八の柱があり、その柱の数は今に残る礎石の二十八個と一致します。

この拝殿が建設された年代はいつ頃でしょうか。『立川寺年代記』によれば、一四〇四年(永享十二)八月の記録に「八月平泉寺焰上」とあります。そして、この年の十月室町幕府の將軍足利義教は、平泉寺再建の費用として北陸道七か国の棟別銭(家の数に就いて課せられる臨時の税)を課税して、建物の造営にあてました。若狭国から越後国までという北陸の広い地域に課税したもので、莫大な費用が平泉寺の再建にあてられたのです。

勝山市文化財保護委員 佐野光臣氏



繁栄した昔の面影を残す拝殿の礎石



編集後記

新年度がスタートし、市では本格的に行財政改革を実施する最初の年となります。「広報かつやま」は、これからも紙面を通じた情報発信と対話を心がけていきますので、みなさまのさまざまなご意見をお待ちしています。今年度の本紙の表紙は「産業遺産」がテーマ。勝山の産業の躍進に一役を担ったものをいろんな角度から紹介していきます。そして、先人たちが築き上げた業績に思いを寄せながらこれからの勝山をみなさんといっしょに考えていければと思います。今の季節、残雪が羽を広げた鶴の形に見える越前甲の「鶴峰の残雪」は有名ですね。



火災発生

88-5100(テープ吹き込み)



休日・祝日救急当番医

診療時間 A 9:00 ~ PM5:00

4/24 (日)	福井社会保険病院 88-0350
4/29 (金)	佐々木胃腸科外科医院 87-2616
5/1 (日)	福井社会保険病院 88-0350
5/3 (火)	福井社会保険病院 88-0350
5/4 (水)	福井社会保険病院 88-0350
5/5 (木)	福井社会保険病院 88-0350
5/8 (日)	河北小児科医院 88-1234
5/15 (日)	クリニカ・デ・ふかや 88-0011

☎ 消防署(88-0400)



交通事故発生状況

高齢者 = 65歳以上

件数内訳	平成17年3月末	前年比
総件数	157件	- 2
人身事故 (うち高齢者)	21件 (3)	-13 (-7)
死者 (うち高齢者)	2人 (1)	+2 (+1)
傷者	32人	-17
物損事故	136件	+11



4月の納税

固定資産税 第1期
納期限 5月2日(月)
口座振替 4月26日(火)



人口の動き

	2月末現在	自然動態		社会動態		3月末現在	月間増減
		出生	死亡	転入	転出		
男	13,404人	6	-18	37	-77	13,352人	-52
女	14,670人	14	-11	29	-82	14,620人	-50
合計	28,074人	20	-29	66	-159	27,972人	-102
世帯数	8,127世帯					8,119世帯	-8世帯

毎月第3日曜は

家庭の日

木や草花を大切にし 美しい花を咲かせましょう